

日交研シリーズ A-710  
平成 28 年度自主研究プロジェクト  
「地域・都市の総合交通政策プロジェクト」  
刊行：2018 年 3 月

地域・都市の総合交通政策の研究—都市圏構造の変化と  
交通の運営・社会資本整備のあり方についての研究

Integrated Transport Policy for Urban Infrastructure Management  
with reference to Changes in Urban Structure

主査：石田信博（同志社大学教授）・松澤俊雄（IPU 特任教授，大阪市立大名誉教授）  
：Nobuhiro ISHIDA ,Toshio MATSUZAWA

要 旨

本研究グループでは、これまで地域・都市の構造の分析と、交通部門における人的・物的輸送、インフラ整備における対応およびそのあり方の分析を通じて、地域・都市交通における統合的交通政策の研究を進めることで成果を発表してきた。

今年度は人的移動と都市圏構造に関するテーマでの 4 本の論文をもって報告書とする。

1 章：「大都市縁辺部」の地域特性と交通では、これまであまり顧みられなかった大都市圏の縁辺部を取り上げ、企業立地や交通市場の観点から考察し、交通圏・都市圏構造の変化に対応した交通流動・輸送の変化を中心に政策対応について考える。

2 章：観光周遊乗合バスの誕生と発展—都市観光の新しい手段—では、都市地域において観光の見地からの面的移動を向上させる公共交通機関の整備について、観光周遊乗合バスをその誕生から現在まで、運行形態、運賃制度、車両、収支状況、今後の課題等について考える。

3 章：地域交通政策におけるタクシー事業のあり方では、人口減少と高齢化の進行が著しい地方部でのタクシー事業の今後について、配車サービスと自動運転の事例をもとに検討し、地域における新たなモビリティ創出手段を模索する。

4 章：自動車の保有に関する一考察では、地域（都道府県）別にみた自動車の保有について、乗用車・軽自動車別に、自動車免許保有数（率）、社会的・経済的諸要因、道路条件、公共交通利用状況等によって考察してゆく。

キーワード：大都市縁辺部、都市観光、地域交通とタクシー事業、自動車保有

Keywords：Urban Periphery, Urban Tourism, Taxi Service Management in Local Transport, Car Ownership